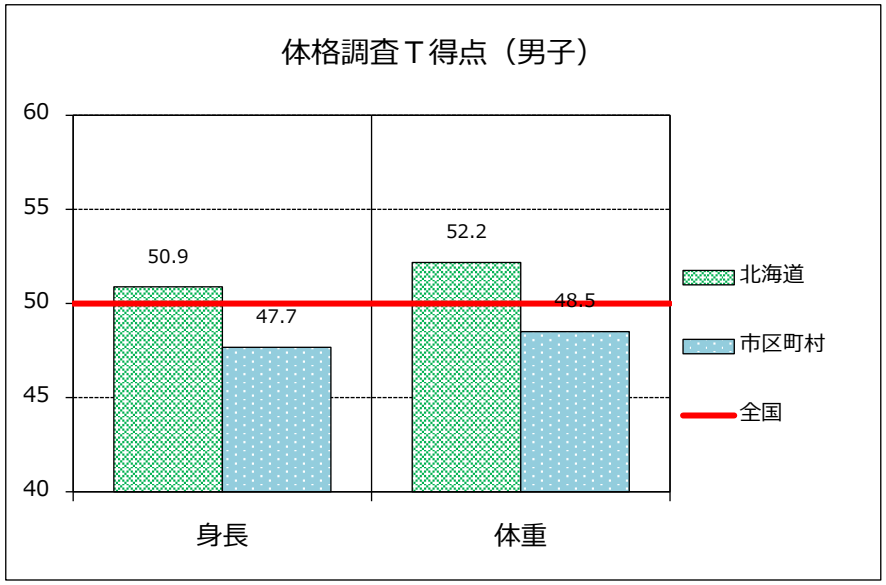
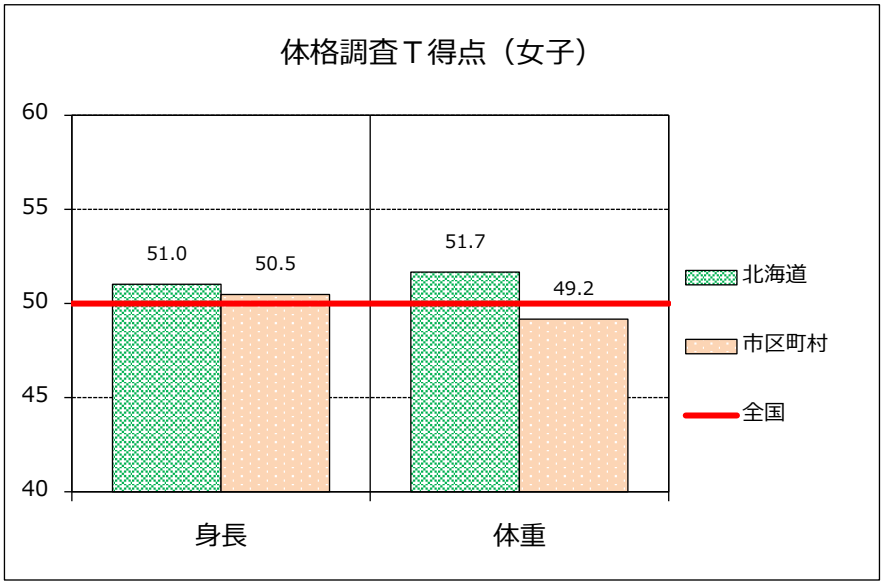
Ⅰ　小学校分析と考察

１　体格集計結果

（１）小学５年男子・女子





男子の身長

・身長の平均値は 138.04 ㎝で、全国平均より 1.49 ㎝下回った。
・全国平均を 50 とした T 得点は、2.3 ポイント下回った。

男子の体重

・体重の平均値は 33.84 ㎏で、全国平均より 1.17 ㎏下回った。
・Ｔ得点は、1.5 ポイント下回った。

女子の身長

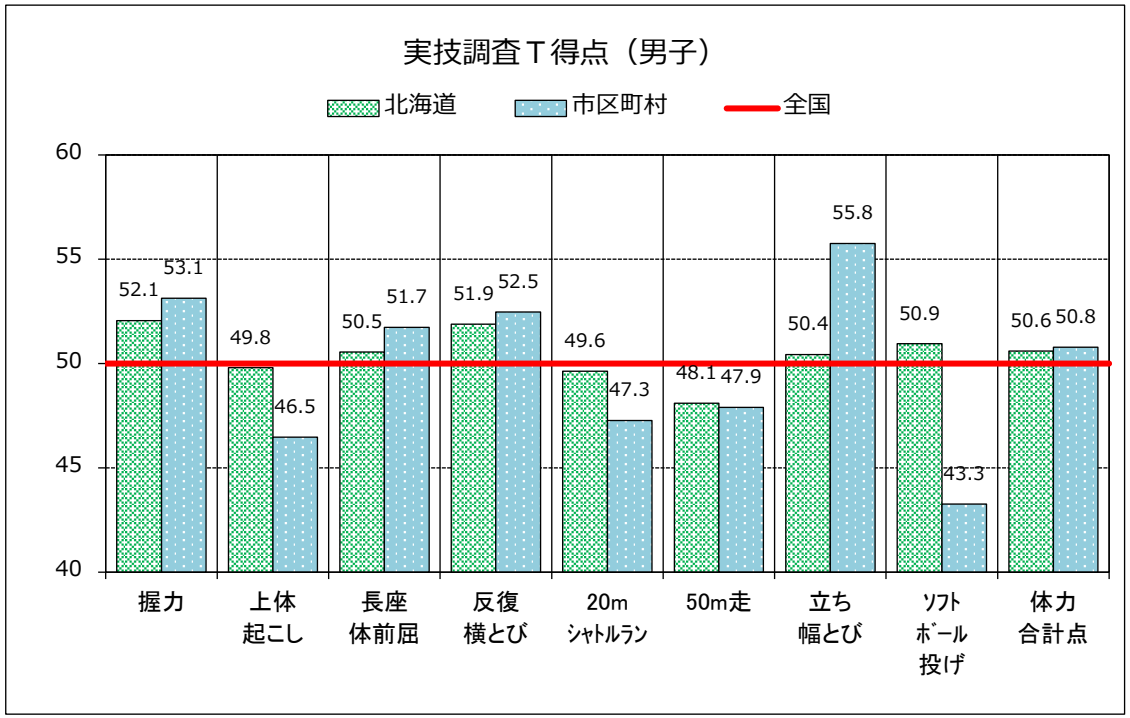
・身長の平均値は 141.15 ㎝で、全国平均より 0.34 ㎝上回った。
・Ｔ得点は、0.5 ポイント上回った。

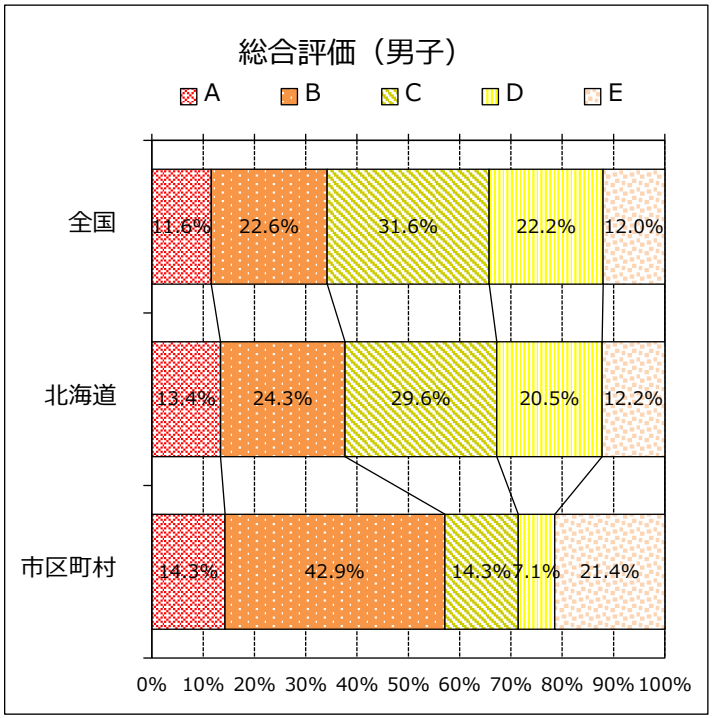
女子の体重

・体重の平均値は 34.10 ㎏で、全国平均より 0.6 ㎏下回った。
・Ｔ得点は、0.8 ポイント下回った。

２　実技集計結果

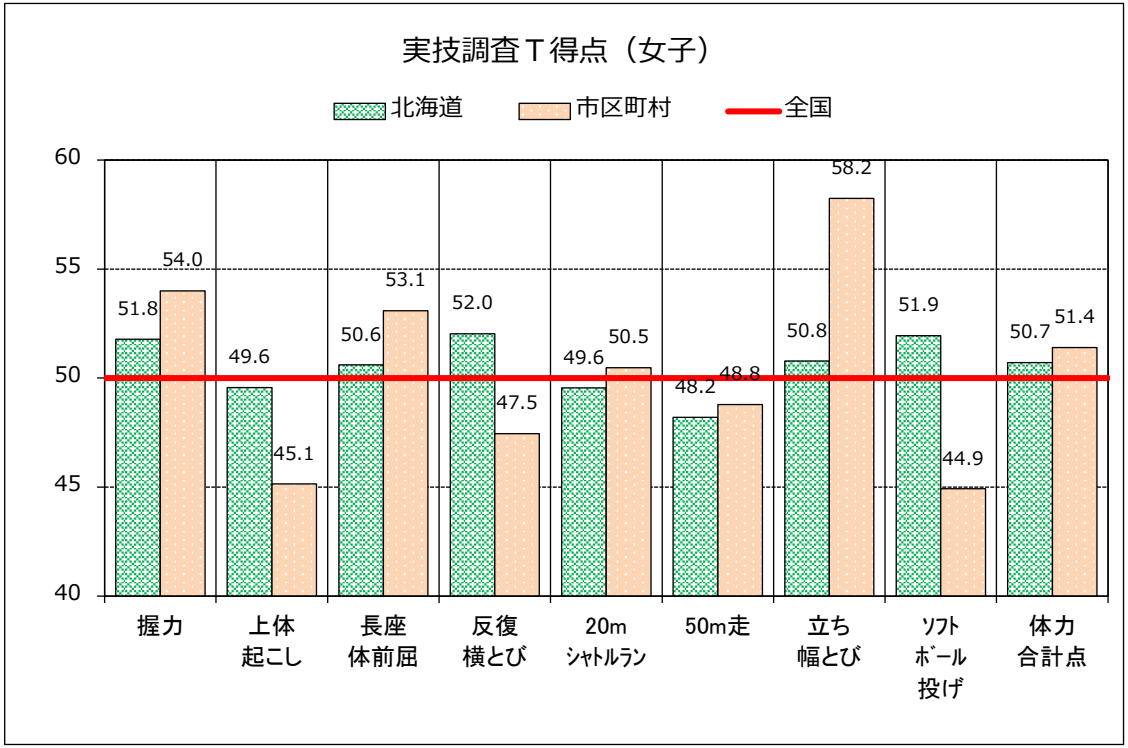
（１）小学５年男子

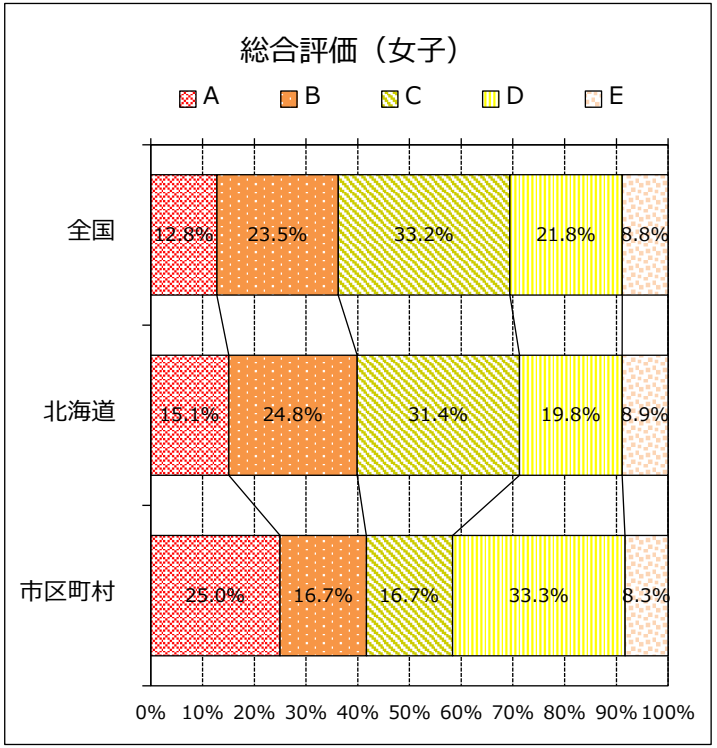




①　握　　力　：握力の平均値は 17.19 ㎏で、全国平均より 1.23 ㎏上回った。Ｔ得点は、3.1 ポイント上回った。
②　上体起こし　：上体起こしの平均値は 17.27 回で、全国平均より 2.19 回下回った。Ｔ得点は、3.5 ポイント下回った。
③　長座体前屈　：長座体前屈の平均値は 35.44 ㎝で、全国平均より 1.56 ㎝上回った。Ｔ得点は、1.7 ポイント上回った。
④　反復横とび　：反復横とびの平均値は 43.00 点で、全国平均より 2.11 点上回った。Ｔ得点は、2.5 ポイント上回った。
⑤　20mシャトルラン　：20m シャトルランの平均値は 42.13 回で、全国平均より 5.81 回下回った。Ｔ得点は、2.7 ポイント下回った。
⑥　５０ｍ走　：50m走の平均値は 9.69 秒で、全国平均より 0.23 秒下回った。Ｔ得点は、2.1 ポイント下回った。
⑦　立ち幅とび　：立ち幅とびの平均値は 165.36 ㎝で全国平均より 14.43 ㎝上回った。Ｔ得点は、5.8 ポイント上回った。
⑧　ソフトボール投げ　：ソフトボール投げの平均値は 15.44m で、全国平均より 5.62m 下回った。Ｔ得点は、6.7 ポイント下回った。
⑨　体力合計点　：体力合計点の平均値は 53.79 点で、全国平均より 0.77 点上回った。Ｔ得点は、0.8 ポイント上回った。
⑩　総　合　評　価　：体力合計点総合評価＝（ＡＢ層）－（ＤＥ層）＝28.7 ポイントで、全国(0.0)より 28.7 ポイント上回った。

（２）小学５年女子

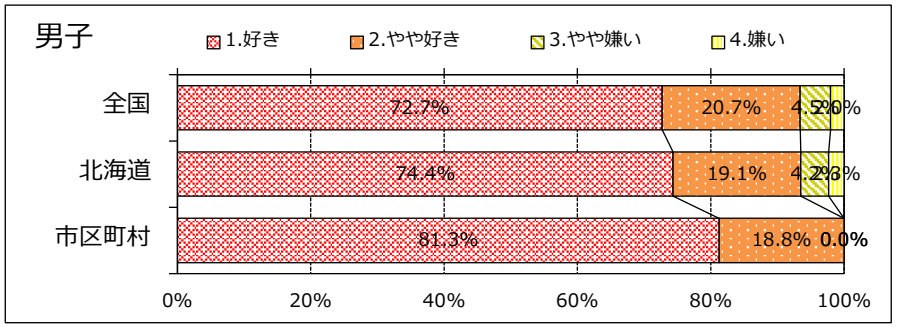


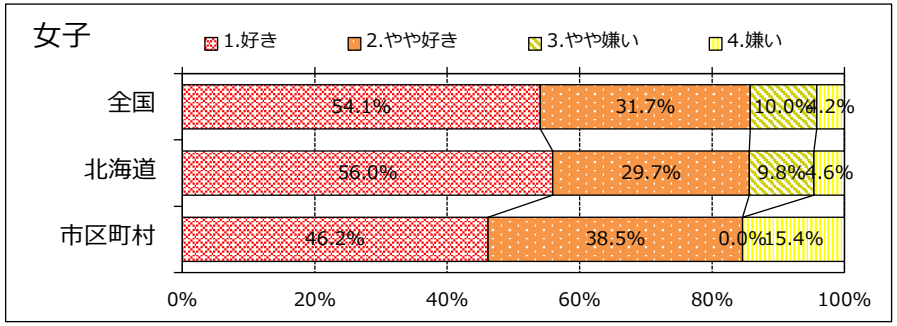


①　握　　力　：握力の平均値は 17.15 ㎏で、全国平均より 1.54 ㎏上回った。Ｔ得点は、4.0 ポイント上回った。
②　上体起こし　：上体起こしの平均値は 15.62 回で、全国平均より 2.74 回下回った。Ｔ得点は、4.9 ポイント下回った。
③　長座体前屈　：長座体前屈の平均値は 41.00 ㎝で、全国平均より 2.85 ㎝上回った。Ｔ得点は、3.1 ポイント上回った。
④　反復横とび　：反復横とびの平均値は 36.77 点で、全国平均より 1.93 点下回った。Ｔ得点は、2.5 ポイント下回った。
⑤　20mシャトルラン　：20m シャトルランの平均値は 37.62 回で、全国平均より 0.77 回上回った。Ｔ得点は、0.5 ポイント上回った。
⑥　５０ｍ走　：50m走の平均値は 9.89 秒で、全国平均より 0.12 秒下回った。Ｔ得点は、1.2 ポイント下回った。
⑦　立ち幅とび　：立ち幅とびの平均値は 162.33 ㎝で全国平均より 19.99 ㎝上回った。Ｔ得点は、8.2 ポイント上回った。
⑧　ソフトボール投げ　：ソフトボール投げの平均値は 10.69m で、全国平均より 2.42m 下回った。Ｔ得点は、5.1 ポイント下回った。
⑨　体力合計点　：体力合計点の平均値は 55.25 点で、全国平均より 1.28 点上回った。Ｔ得点は、1.4 ポイント上回った。
⑩　総　合　評　価　：体力合計点総合評価＝（ＡＢ層）－（ＤＥ層）＝0.1 ポイントで、全国(5.7)より 5.6 ポイント下回った。

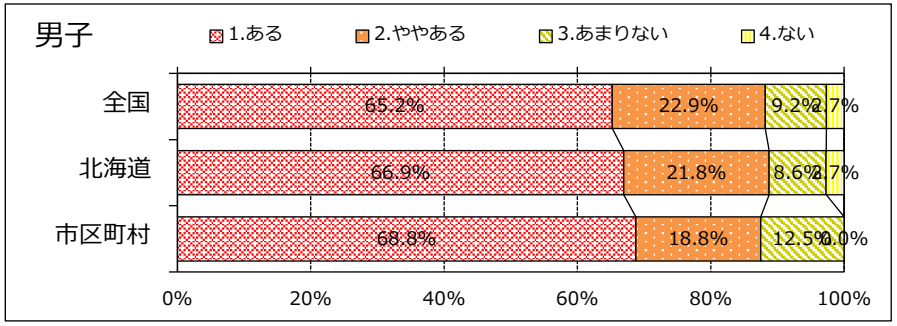
３　児童質問紙結果

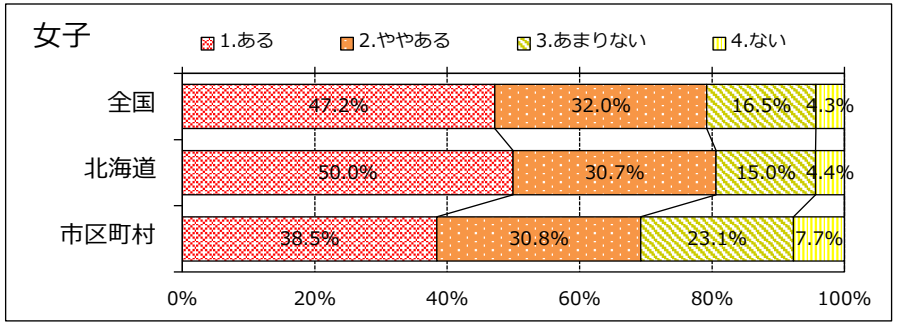
（１）運動やスポーツをすることは好きですか。（Ｑ１）



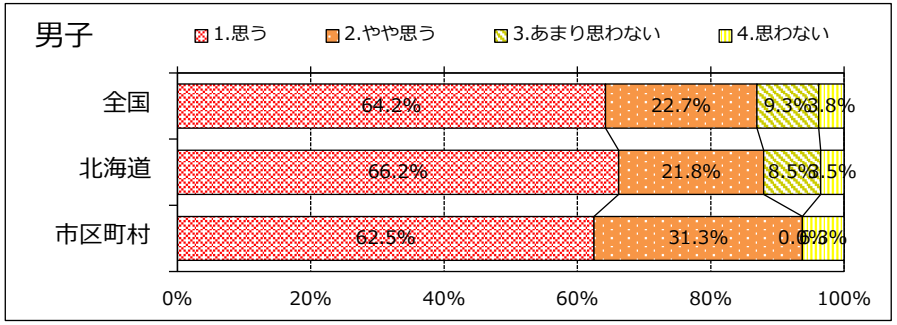


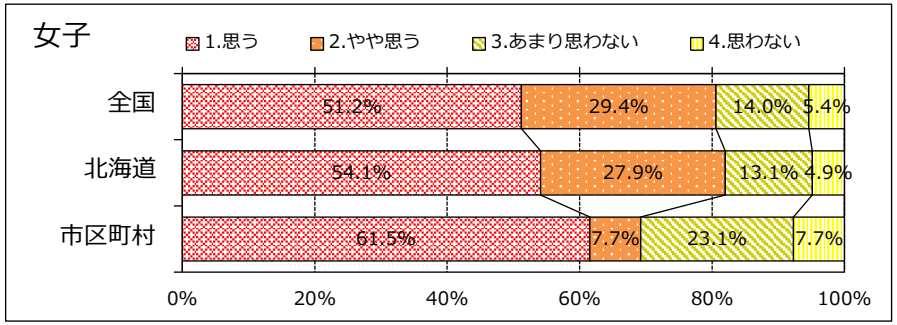
（２）運動やスポーツをすることに、興味や関心がありますか。（Ｑ２－１）



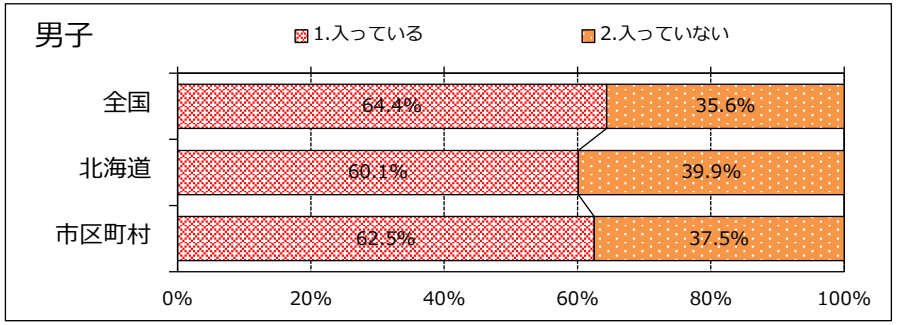


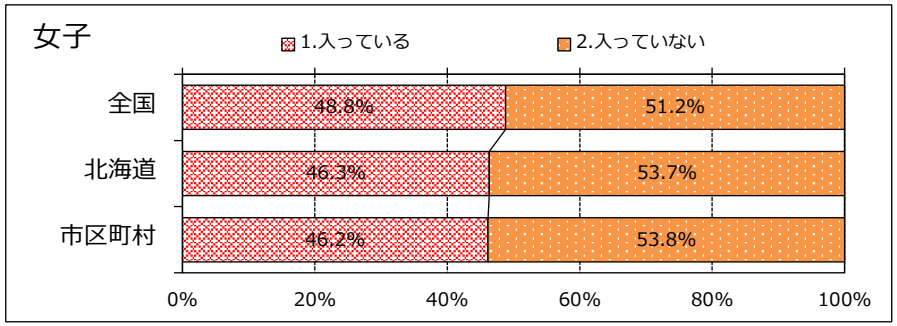
（３）中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか（Ｑ３）



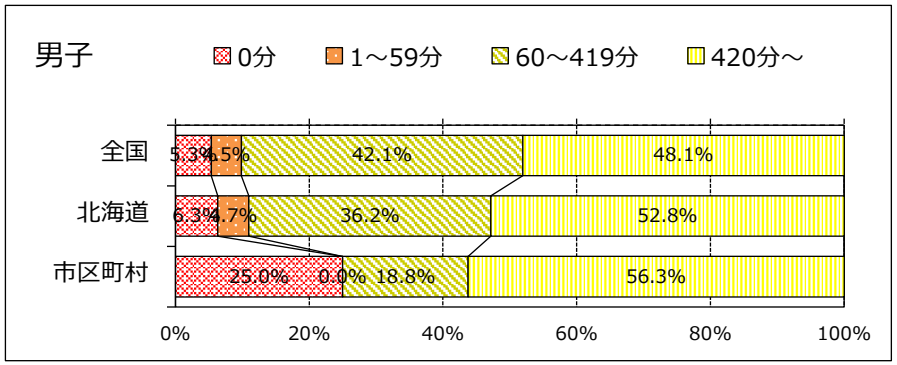


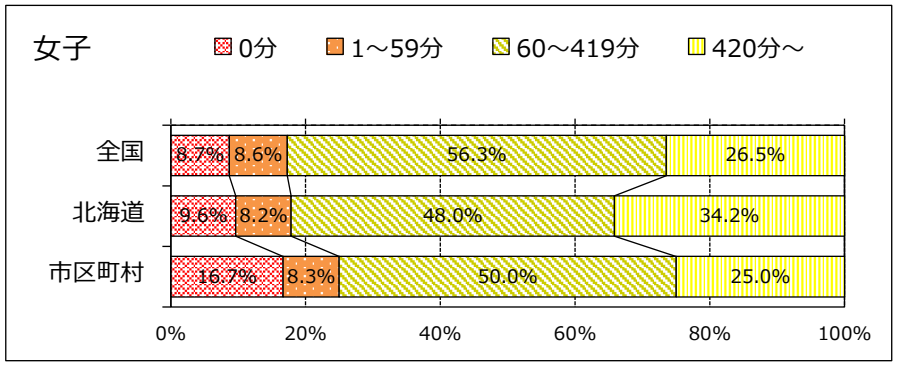
（４）地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含む）に入っていますか。（Ｑ４）



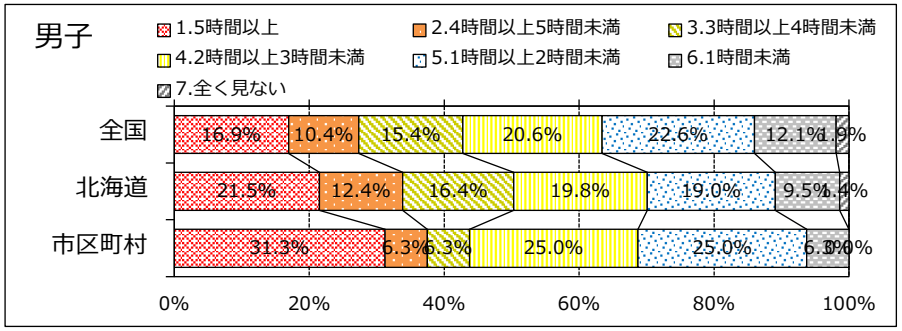


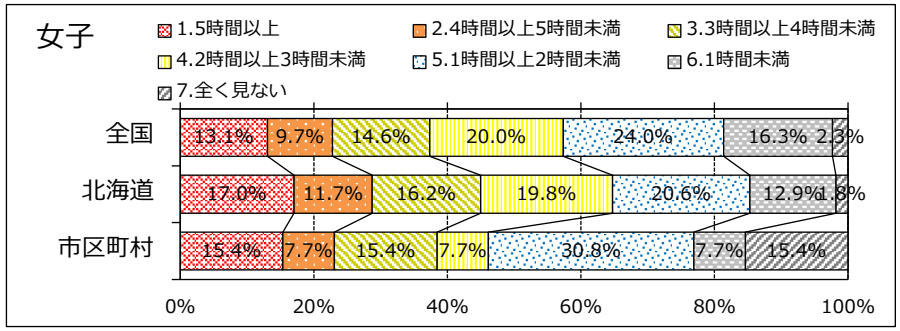
（５）学校の体育の授業以外で、１週間におよそどのくらいの時間、運動やスポーツをしていますか。（Ｑ５）



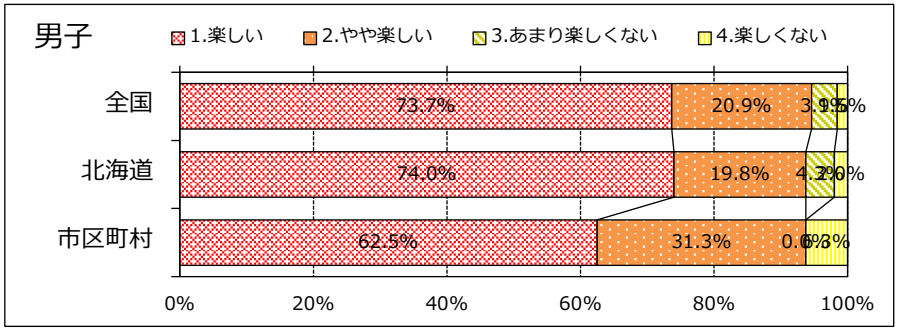


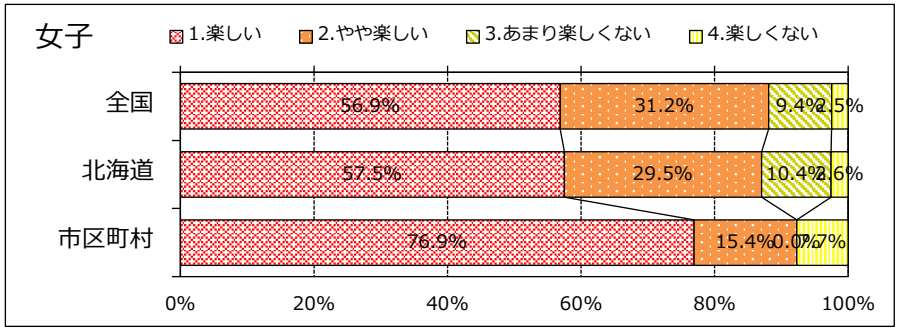
（６）平日に学習以外で、１日にどのくらいの時間、テレビやゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（Ｑ８）



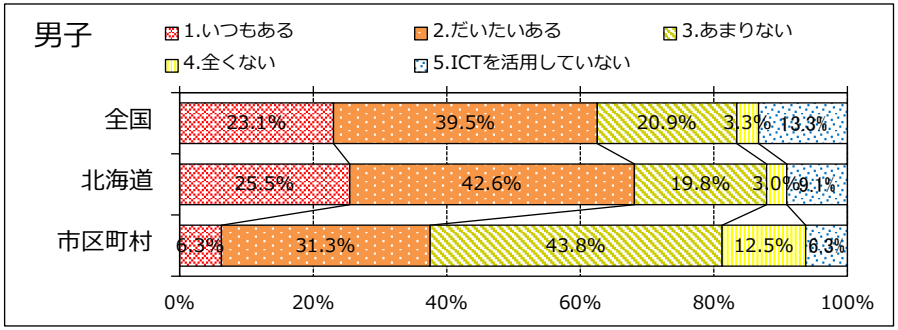


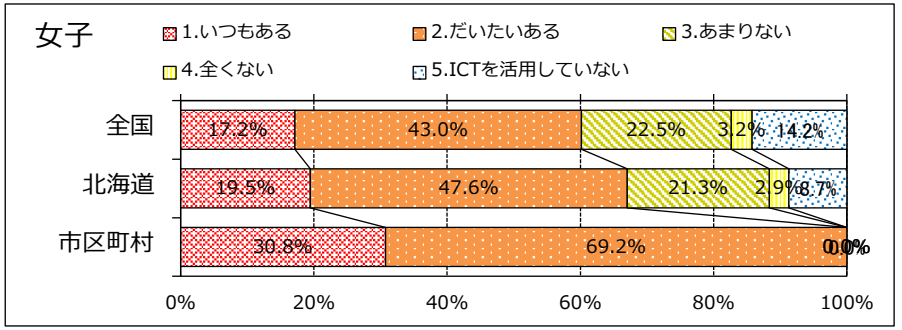
（７）体育の授業は楽しいですか（Ｑ９）



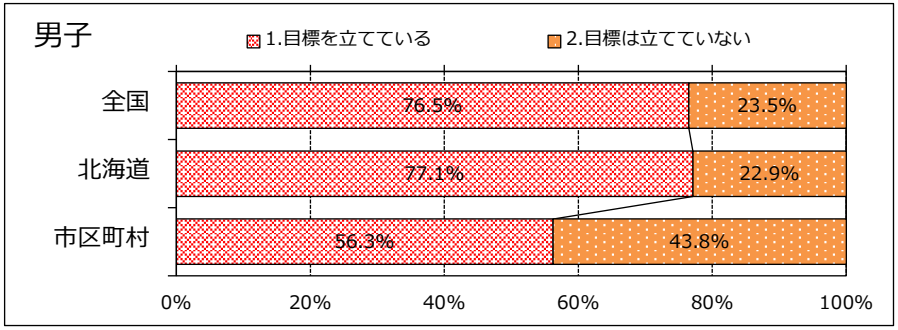


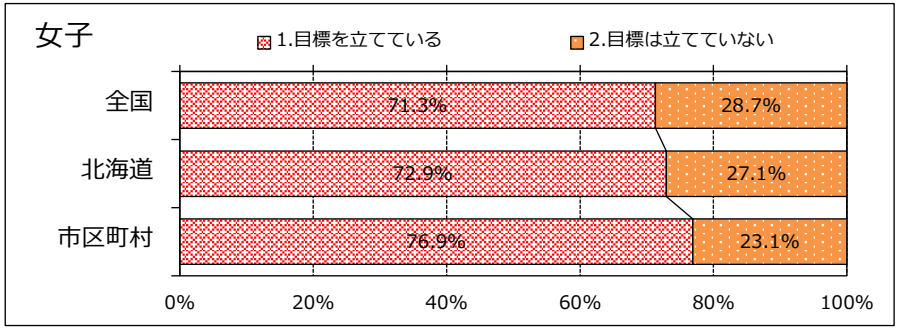
（８）体育の授業で、タブレットなどのＩＣＴを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。（Q14）



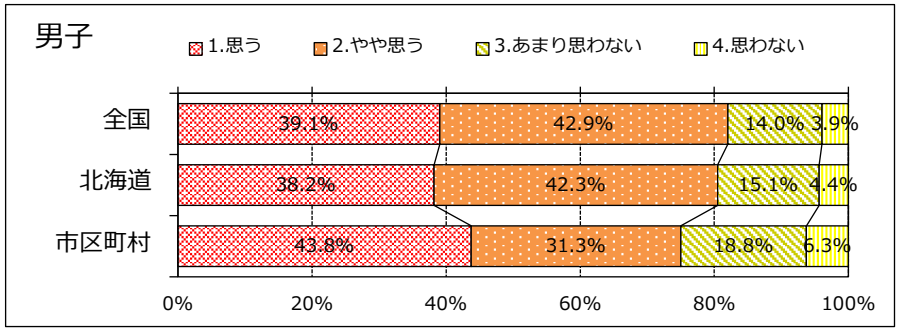


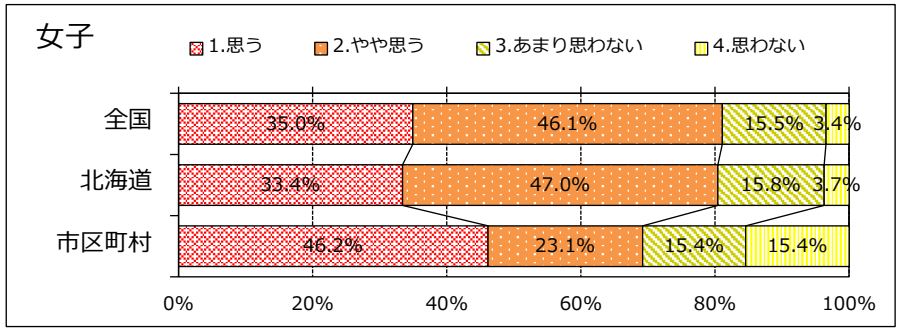
（９）体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。（Q15）



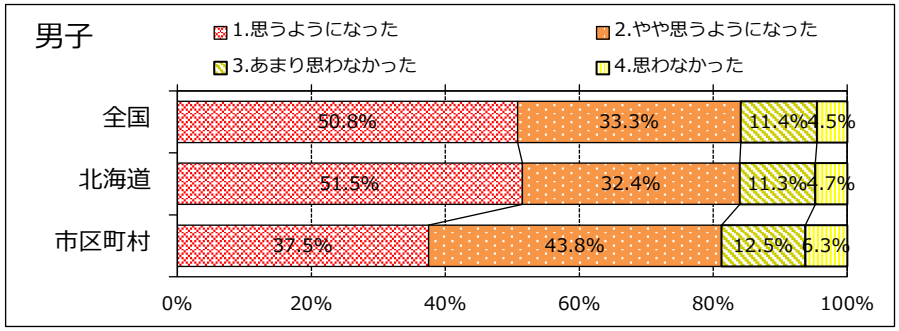


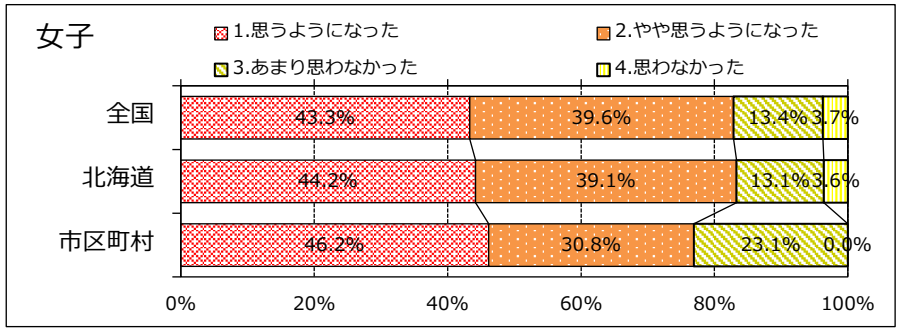
（10）保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思いますか。（Q16）





（11）保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。（Q17）





4　分析と考察

池田町の小学校５年生の体格は、女子の身長が全国平均を上回り、男子の身長、男女の体重は全国平均を下回った。

実技については、男子は握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とびの４種目、女子は握力、長座体前屈、20mシャトルラン、立ち幅とびの４種目で全国を上回った。特に、立ち幅とびは、男女ともに全国よりＴ得点で 5.0pt 以上上回った。一方、全国より大きく下回った男子のソフトボール投げ（全国比－6.7pt）、女子の上体起こし（全国比－4.9pt）、ソフトボール投げ（全国比－5.1pt）は、今年度の重点課題と考えられる。

体力合計点を見ると、男子は全国平均より高く、Ｔ得点で 0.8pt 上回り、女子も全国平均より高く、Ｔ得点で 1.4pt 上回った。総合評価（AB－DE）は、男子は全国よりも 28.7pt 上回り、体力合計点の高い層の児童が全国より多い結果となった。女子は全国よりも 5.6pt 下回り、体力合計点の低い層の児童が全国より多い結果となった。

また、平成 29 年度以降の結果から、池田町の小学生は、男女の握力とソフトボール投げ、女子の立ち幅とびが高い傾向にあり、男女の上体起こし、20mシャトルラン、50m走、女子の反復横とびが低い傾向にある。学校においては、これらの経年の状況も踏まえ、小中一貫した組織

的・継続的な取組の充実が必要である。

児童質問紙では、(1)「運動やスポーツをすることが好き」、(2)「運動やスポーツをすることに興味や関心がある」、(3)「中学校に進んだら自主的に運動やスポーツをしたい」等の運動に対する意識・認識について、男子はいずれも全国と同程度若しくは上回る結果だった。女子は(3)「中学校に進んだら自主的に運動やスポーツをしたい」と回答した児童は全国を 10.3pt 上回ったが、(1)「運動やスポーツをすることが好き」(2)「運動やスポーツをすることに興味や関心がある」と回答した児童は全国を大きく下回った。(4)「地域のスポーツクラブに入っている」男子は 62.5%（全国 64.4%）、女子は 46.2%（全国 48.8%）でいずれも全国をやや下回った。(5)「体育の授業以外の１週間の総運動時間」は、男子は７時間以上が 56.3%（全国 48.1%）で全国を上回ったが、0 分が 25.0%（全国 5.3%）と運動をしていない児童が全国を大きく上回った。女子は７時間以上が 25.0%(全国 26.5%)で全国をやや下回り、0 分が 16.7%(全国 8.7%)と全国を上回った。 (6)「平日に学習以外で、スマートフォンなどの画面を２時間以上見ている」と回答した男子は 68.9%(全国 63.3%)で全国を上回り、特に５時間以上見ている男子が 31.3%（全国 16.9%）と極めて多い状況だった。「２時間以上見ている」と回答した女子は 46.2%(全国 57.4%)で全国を大きく下回った。(7)「体育の授業は楽しい」と回答した男子は 62.5%（全国 73.7%）で全国を大きく下回り、女子は 76.9%(全国 56.9%)で全国を大きく上回った。(8)「体育の授業で、タブレットなどを使った学習により、できたり、わかったりすることが、いつもある、だいたいある」と回答した男子は 37.6%（全国 62.6%）で全国を大きく下回り、女子は 100%(全国 60.2%)で全国を大きく上回った。(9)「体力・運動能力の目標を立てている」と回答した男子は 56.3%(全国 76.5%)で全国を大きく下回り、女子は 76.9%（全国 71.3%）で全国を上回った。(10)「保健の授業で学習した運動、食事、睡眠等に気をつけた生活を送れている」と回答した男子は 43.8%（全国 39.1%）、女子は 46.2%（全国 35.0%）でいずれも全国を上回った。(11)「保健を学習して、もっと運動しようと思うようになった」と回答した男子は 37.5%(全国 50.8%)で全国を大きく下回り、女子は 46.2%（全国 43.3%）で全国を上回った。

児童質問紙の結果から、男子は「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツをすることに興味や関心がある」児童が全国平均より多い反面、４人に１人が「体育以外で全く運動やスポーツをしない」状況であり、「体育の授業が楽しい」と感じている児童も全国平均を大きく下回っている。女子は、「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツをすることに興味や関心がある」児童が、全国を大きく下回り、「体育以外で全く運動やスポーツをしない児童」も全国よりも多い反面、「体育の授業が楽しい」と感じている児童が全国を大きく上回っている。スクリーンタイムは、２時間以上見ている児童が昨年度に比べ男子は 17.8%、女子は 28.8%減少したが、５時間以上見ている男子が３人に１人いる状況であり、学校・家庭・地域が一体となって良好な生活習慣の形成に努めていくことが必要である。

全国調査の結果から、「運動やスポーツは好き」と回答した児童生徒ほど体力合計点が高く、卒業後の運動意欲も高くなっていることから、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現できるよう、引き続き、児童生徒の運動意欲の向上につながる取組を進める必要がある。また、体育の授業は「あまり楽しくない」「楽しくない」と感じている児童生徒も、「楽しい」と感じることができるような「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業づくりを今後も継続していくことが必要である。